

POLAND FILM FESTIVAL

2017 in KAWASAKI

ポーランド映画祭 2017 in 川崎

追悼特集
アンジェイ・ワイダ



OSTUDIO FILMOWE „PERSPEKTYWA”



GARBA FILM

川崎市市民ミュージアム

4.22 [土] / 23 [日] / 29 [土・祝] / 30 [日]

5.3 [水・祝] / 4 [木・祝] / 5 [金・祝]

POLAND FILM FESTIVAL

2017 in KAWASAKI

ポーランド映画祭 2017 in 川崎 アンジェイ・ワイダ追悼特集

2016年10月9日、映画監督アンジェイ・ワイダの訃報が伝えられました。ポーランドの巨匠として知られるワイダ監督は、90年の生涯を通して40本もの映画を撮りました。常に政治と歴史に向き合い続けた芸術家であり、その死は大きな衝撃を持って迎えられました。

アンジェイ・ワイダは1926年にポーランドで生まれ、陸軍将校だった父を「カティンの森事件」(1940年)で亡くし、10代半ばにしてレジスタンス活動に従事します。第二次世界大戦後、ウッチ映画大学を卒業し、自らのレジスタンス体験をもとに、1954年に長編映画『世代』により監督デビュー。本作は『地下水道』『灰とダイヤモンド』とあわせて「抵抗3部作」と呼ばれて国際的な評価を獲得し、“ポーランド派”として世界中にその名を知らしめました。その後も、第二次世界大戦下のポーランドを舞台にした作品や、社会主義政権への懐疑を示した作品など、歴史的視点を取り入れた映画を次々に発表。その反骨精神あふれる作品群は、ポーランド国内はもちろん、世界各国や日本にも多大な影響を与えてきました。今回は追悼特集として、ワイダ監督の代表作9作品を上映します。映画史に輝く素晴らしい傑作群をぜひご堪能ください。



世代 POKOŁENIE

監督:アンジェイ・ワイダ
1954年|87分|モノクロ
デジタル・リマスター版

1942年、ナチス支配下のワルシャワ。貧民窟に育った少年は、人民軍の少女との出会いを機に反ナチ闘争に自らのアイデンティティを見出す。ワイダの長編第一作であり、「抵抗3部作」の始まりを告げ、戦後ポーランドの転換点を示すことにもなった記念すべき作品。『灰とダイヤモンド』のツィプルスキや、監督ポランスキーも出演。

5.3[水・祝] 11:30



地下水道 KANAL

監督:アンジェイ・ワイダ
1956年|97分|モノクロ
デジタル・リマスター版

ナチスの占領に対する国内軍とワルシャワ市民の抵抗運動＝ワルシャワ蜂起の敗北を、ドキュメンタリー風に捉えた本作。脚本家のイェジ・ステファン・スタヴィンスキをはじめ、キャスト、スタッフに実際の蜂起に参加した人々を多数起用。地下水道で繰り広げられる死闘が、リアルに捉えられている。カンヌ国際映画祭審査員特別賞受賞。

4.22[土] 11:30 / 5.3[水・祝] 14:30



©Maciej Komorowski



灰とダイヤモンド POPIÓŁ I DIAMENT

監督:アンジェイ・ワイダ
1958年|103分|モノクロ
デジタル・リマスター版

第二次大戦が終結した1945年5月8日から翌朝までの1日、労働者党書記の暗殺を命じられたゲリラ兵の青年マチュクがたどる悲劇的な運命を描いた青春劇。反共主義者の暗殺者を主人公にしたことで当時のポーランド国内では冷遇されたが、ヴェネチア国際映画祭批評家連盟賞受賞を機に、ポーランド映画史上最も重要な作品と言われるまでになった。

4.22[土] 14:30 / 5.4[木・祝] 11:30



夜の終りに NIEWINNI CZARODZIEJE

監督:アンジェイ・ワイダ
1960年|87分|モノクロ
デジタル・リマスター版

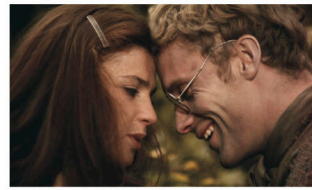
ワルシャワの街で出会った若い医師と娘が繰り広げる恋愛ゲーム。「雪解け」後のワルシャワの街を記録映画風に映しながら、男女の心理的駆け引きを描いた本作は、ワイダにとって異色作とも言える。脚本は作家のアンジェイ・フスキと監督のスコリモフスキが共同執筆。ポーランドジャズの立役者でもあるコメダが音楽を担当、劇中にも出演を果たしている。

4.29[土・祝] 11:30 ★本編前にワイダ監督のメッセージ映像(約30分)上映
5.4[木・祝] 14:30



©KADR Film Studio

4.29[土・祝] 14:30



©Studio Filmowe Zebra

4.30[日] 14:30
★本編前にワイダ監督の
メッセージ映像(約2分)上映

5.5[金・祝] 11:30



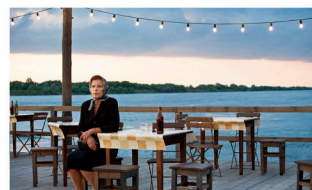
©STUDIO FILMOWE „PERSPEKTYWA”

4.23[日] 14:30
5.5[金・祝] 14:30



©ARKA FILM.

4.23[日] 11:30
★本編前にワイダ監督の
メッセージ映像(約2分)上映



©AKSON STUDIO, TVP, MEDIAPLUS / POLISH FILM INSTITUTE

4.30[日] 11:30
★本編前にワイダ監督の
メッセージ映像(約2分)上映

サムソン

SAMSON

監督:アンジェイ・ワイダ|1961年|118分|モノクロ|デジタル・リマスター版

1939年～43年頃のワルシャワ、ユダヤ人ゲットーを脱出した青年ヤクブの数奇な運命。ヤクブは、ナチスによるユダヤ人迫害やゲットー蜂起まで常に歴史の波に翻弄され続けるが、いかなる迫害にも屈しない精神的強さを持つ。その強さが、旧約聖書の英雄サムソンに重ね合わせられる。本国では知らぬ人がいないと言われる名作だが、日本では昨年に初上映された。

戦いのあとの風景

KRAJOBRAZ PO BITWIE

監督:アンジェイ・ワイダ|1970年|107分|カラー|デジタル・リマスター版

1945年初頭のドイツ。ナチスの強制収容所から解放された囚人たちは、米軍の手で難民収容所に移送される。皮肉屋の青年作家は、収容所でユダヤ系の娘と出会うが、束の間の愛はやがて皮肉な運命にさらされる。原作は、ポーランド人作家タデウシュ・ポロフスキの短編小説。婚約者と共にアウシュヴィッツ収容所を生き抜いた作家は、1951年に自ら命を絶った。

大理石の男

CZŁOWIEK Z MARMURU

監督:アンジェイ・ワイダ|1977年|160分|カラー|デジタル・リマスター版

スターリン体制が強化された50年代ポーランドで、英雄として国家に祭り上げられた一人の男。1976年、映画を学ぶ女子大学生は、ドキュメンタリーの製作を通して英雄神話に隠された真実を描きだそうとし、政府の欺瞞が赤裸々に暴かれる。本作は当局との間に大きな軋轢を生むが、国民からは熱狂的な支持を受けた。カンヌ国際映画祭批評家連盟賞受賞。

仕返し

ZEMSTA

監督:アンジェイ・ワイダ|2002年|100分|カラー|デジタル

アレクサンデル・フレドロの戯曲に基づく喜劇作品。18世紀末頃のポーランドを舞台に、一つの城に住む二家族の顛末を描く。家同士の対立に振り回される若い恋人たちといういかにも古典喜劇らしい内容だが、ポーランド人への皮肉的な視線も交えられている。ロマン・ポランスキーの他、ヤヌシュ・ガゴス、ダニエル・オルブリフスキらポーランドを代表する俳優たちが出演。

菖蒲

TATARAK

監督:アンジェイ・ワイダ|2009年|87分|カラー|デジタル

余命わずかな妻と医師の夫。かつてワルシャワ蜂起で息子を亡くした夫婦の微妙な距離感と、偶然出会った美しい青年に惹かれる妻の心の動きが、繊細なタッチによって捉えられていく。一方で、妻を演じたクリスティナ・ヤングの、長年連れ添った夫を本作撮影中に亡くすという個人的体験が挟みこまれ、映画を思わぬ方向へと導く。

▶スケジュール

4.22[土]

11:30 地下水道
14:30 灰とダイヤモンド

4.23[日]

11:30 仕返し★
14:30 大理石の男

4.29[土・祝]

11:30 夜の終りに★
14:30 サムソン

4.30[日]

11:30 菖蒲★
14:30 戦いのあとの風景★

5.3[水・祝]

11:30 世代
14:30 地下水道

5.4[木・祝]

11:30 灰とダイヤモンド
14:30 夜の終りに

5.5[金・祝]

11:30 戦いのあとの風景
14:30 大理石の男

▶入場料金 | プログラムにつき

当日券:一般600円

大学・高校生・65歳以上:500円

小中学生400円

未就学児、障害者手帳等を

お持ちの方及びその介護者無料

